

ようこうだより

2020年度

陽光園に新しいハイエースが
納車されました



大切に乗りましょう！！

令和二年って……

館邑会理事長挨拶

令和二年は、東京オリンピック・パラリンピックで盛大

に盛り上がる年になるかと思
っていました。しかし、「新型
コロナウイルス」が中国武漢
市から発生し、時期も中国の
旧正月である春節と重なった
ため、大勢の観光客を受け入
れた日本でも感染が広がって
しまい、「感染症と戦う年」に
なっていました。この事
は、大勢の障がい者支援を行
う、私たちにとって、「絶対に
感染を持たせない。」「感染さ
せない。」と、精神的・身体的
に辛いものがあります。可能
な限りのアルコール消毒・
日々の検温・入所通所を問わ
ず全施設、取り組んでいます。
一日も早いワクチン開発の成
功とコロナウイルスが衰退す

ることを願っています。

さて、館邑会陽光園が出来
て四十年を迎えようとしてい
ます。生活介護施設陽光園（通
所）の建物も四十年を迎えよ
うとしています。当時、自己
資金は殆ど有りませんでした。
国や館林市・邑楽町からの補
助金だけでは足りず、地域の
皆様の温かいご支援（百円募
金）を頂き、建設することが
出来ました。その建物も丁寧
に使ってききましたが、老朽化
の為、建て替えの検討が始ま
りました。地域
から通ってくる利
用者たちが快適か
つ安全に利用でき
る建物を造りたい
と思います。

理事長 山川 博

知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

笑顔の花が咲くように

陽光園

陽光園が開所してから、今年
度で四十年が経過しますが、
新型コロナウイルスの影響に
より新たな生活様式でスター
トした新年度。職員も利用者
さんも特別な思いで迎えたこ
とだと思えます。そのような
状況下でも、陽光園では通常
通りの活動を続けており、利
用者さんは変わらず明るく元
気よく登園しています。新し
い仲間も増え、現在六十四名
の利用者さんが登録されてお
り、にぎやかな毎日を過ごし
ています。日中活動では枕カ
バー伸ばし作業や段ボール組
み立て作業をはじめとし、ミ
ルクポーション分別作業等リ
サイクル活動にも携わってい
ます。そして、コロナ禍の状
況でも園外活動で身体を動か

し、季節を感じられる場所で
散策を楽しんでいます。自粛
生活を余儀なくされ、楽しみ
にしていたイベントも中止に
なっていました。制限が、制限
されている中でも影響のない
範囲で楽しく過ごしてもらい
たいという思いもあり、園の
中で豪華なお弁当を楽しむラ
ンチ会を開き、利用者さんか
ら大好評をいただきました。
自粛要請が解除されてからは、
館林特別支援学校を始め、た
くさんの見学者が訪れていま
す。厳しい毎日でも、利用者
さんの変わらない笑顔で癒さ
れ、そして職員も笑顔になる
そんな笑顔あふれる陽光園で
あり続けたいと願っています。
生活支援員
勤続7年 島田 知実

変わりゆく毎日、
明るく元気に!!

第二陽光園

第二陽光園では新年度を迎えた中で、新型コロナウイルスの影響もあり、「新しい生活様式」での毎日が始まりました。新たな生活に利用者共々ご家族の皆様も不安に感じていることと思います。

そんな中ではありますが、利用者の健康と安全に考慮し、安心して楽しく毎日が送れる様に日々の支援に当たっています。

自粛や制限を余儀なくされる現状ですが、季節の流れを感じ、楽しめるようなイベントを毎月行っています。子供の日には鯉のぼりをみなさんで作り、たい焼きを食べ、七夕には笹を用意して、みなさんでお願い事を書き、夕涼み会では花火を見るなど、利用

者の笑顔がたくさん見られるような行事を行いました。今後も職員一同「感染しない、感染を持ち込まない」努力を継続して日々の支援をしていければと思います。



「いつか終わりが
来ることを信じて
ひとりひとりが
努力しよう
すべては利用者のために」

生活支援員

勤続7年 金澤 将太

どんな時でもチャレンジ

ふんぷん

ふらつぐは、四月よりG O O D J O Bとの作業種調整が行われ、パン製造グループと施設外での作業グループとなりました。施設外での作業は、清掃とエアグレス、ダノンリサイクルと作業に合わせながら人数編成・調整を行い、作業活動を行う予定でしたが、現在ダノンリサイクルは作業が停止状態となっています。

現在も終息が見えないコロナ渦の中での作業活動ですが、利用者の皆さんは、体調を崩すことなく元気な笑顔を見せてくれています。そして、ある人はスケジュール通りに、ある人は臨機応変に自分の作業をしっかりと行い、チームの中での役割を果たしてくれています。

週末の生活や事業所の活動では、自粛・自粛が続いていますが、作業の中ではそれぞれが新しい作業にチャレンジし、可能性を見つけ伸ばし、広げていける取り組みができるように心がけています。

生活の変化は、いつ誰にでもあります。その変化の中でどのような準備や環境調整ができると自分らしさを発揮しながら順応させていくことができるのかを考えて支援をしています。変化があつた時の皆さんの成長や新たな発見がたくさんあることに気づかされる毎日です。そしてそこにあるのは最高の笑顔です。

目標工賃達成指導員

勤続11年 村山 早苗

新しい生活様式の中での暮らし

くらしがば

『新しい生活様式』に合わせて利用者さんをお願いしていることがあります。

- ・マスクを付けましょう。
- ・人とは少し離れて過ごしましょう。

- ・お話は小さな声で。
- ・いろいろなところを触らないようにしましょう。

- ・手洗い、うがいをしましょう。
- ・熱を計りましょう。

・早めに寝ましょう。です。
初めは皆さん戸惑っていましたが、最近は徐々に習慣付いてきているようです。移動支援を活用していた方達は自粛期間中に利用することができず、残念そうにしています。少人数で近くのお店に買い物へ行ったり、散歩へ出かけたがりながら気分転換を

図っています。

ホームあすかでは、ホーム内でかき氷や手作りおやつ会をしたりして、外出できなくても楽しめるようにしました。ホームそらでは、毎月実施していた外出を自粛期間中は中止していましたが、先頃、五ヶ月ぶりに弁当持参で人ごみの少ない山へ行ってきました。コロナウイルスに負けないよう健康に注意しながらも楽しみを持って生活できるようにこれからも工夫して行きたいと思っています。



生活支援員

勤続24年 大槻 香織

ほつとほつと

ほつと

館林邑楽相談支援センターほつとが館林市総合福祉センターの二階に移転して五年半が経過しました。今年初めより世界中で流行している新型コロナウイルス感染症防止のために、日々の検温や、訪問から帰ってきた際に手洗いなどが徹底するなど職員一人一人が感染防止に努めています。

総合福祉センターも入館制限をとっています。面談を行う際には館内の別室でソーシャルディスタンスを保ち行っておりです。
ほつとは障がいをお持ちの方やそのご家族の日常生活上の困り事や悩み事などの相談を受けて、関係機関と連携を取りながら、福祉サービスの紹介や利用の調整など、様々な相談支援を通じて一人ひとりのご希望する生活に向けて支援を行っています。

様々な相談に関わらせて頂いている中で、相談者の希望に沿う形で支援が出来る時もあるれば、思うように進まないこともあります。その時は、一度立ち止まり、別の視点から目標や課題を見直してみたり、関係機関の方々に協力して頂き、相談者が望む地域生活に近づいていけるように連携を図っています。

相談者一人ひとりが「こうありたい」と言う希望に向かって進めるように、そつと寄り添い続けられるように、今後も支援に励みたいです。
相談支援専門員

勤続6年 千葉 克真

ういずでの変化

ういず

今年には新型コロナウイルスの影響で三月より学校が休校になり、今までの生活からの大きな変化で、私たちでも戸惑いが大きかったように、お子さんたちにとっても不安な日々が続いていたと思います。

そのような状況下、どのようにういず内での活動を充実させていくかが重要になる日々が始まりました。

遊びの活動で、カードゲームをするお子さん達が増えたことから種類も増やし、その際には自分たちで確認できるように解りやすくルールブックを作成しました。

おもちゃも、お子さん自身が組み合わせを考えて改造できるものを用意しました。

そのような対応をしたところ、職員が側に居なくてもお子さん達同士でルールを確認しながら行う様子やお子さん達でどの組み合わせが強くなるかなど相談する姿など新しい一面を見ることが出来ました。

これからどのような状況になるのか不安があります。それでもういずがお子さん達にとって、安心して楽しく過ごせる場所になれるように今度も努力していきたいと思えます。



保育士

勤続16年 山岸 小百合

新たな輝き

GOOD JOB

新型コロナウイルスが収まらないことで、ダノシリサイクルセンターの稼働が中断しています。が、事業所の理念でもある「知る・得る・つなげる」を基に活動を行っています。

第一に「知る」に関しては、多々良フレッシュファームさんのハウスの中で苗を植える前の耕しの作業に携わらせていただきました。作業を繰り返していく中で個々の出来る事の広がりも見られました。また、利用者さんの違う一面も知ることができました。自信や成長も見られ、いちごが実るこれからは、仲間の成長とうれしさが二倍です。

第二に「得る」ことですが、これから始めようとしている新たな作業として配食サービ

スのおかずを盛り付けする仕事を予定しています。利用者さん同士が協力し合い安心して楽しく、共感を得ることが出来る作業になるよう職員間で情報を共有し準備を行いながら同じ立ち位置で取り組みを進めたいと思います。

第三の「つなげる」になりますが、外作業が出来ない時等に大人講座を開催しています。大人としてのマナーを学び人と関わり、自分らしさにつなげる事が出来るように今後も継続し、一緒に成長できたらと思います。今後も明るく楽しく、仲間を思い合いたいと思います。

目標工賃達成指導員

勤続8年 増田 淳一

○表彰披露

◇日本知的障害者福祉協会 知的障害者福祉事業功労者(20年)

第二陽光園 飯塚利幸 サービス管理責任者

てんしやば 前山秀邦 サービス管理責任者

ほっと 遠藤真由実 主任 相談支援専門員

GOODJOB 中村建児 所長

◇群馬県知的障害者福祉協会 永年勤続表彰(10年)

陽光園 若旅恭美 生活支援員

第二陽光園 並木紀子 調理員

GOODJOB 荒井好香 生活支援員

◇群馬県手をつなぐ育成会 永年功労教職員(8年)

陽光園 井野口善久 生活支援員

ういず 赤坂知美 保育士

○寄付金・寄贈品(令和1年7月～令和2年6月)

◇法人本部

館林西ロータリークラブ 様

館邑会後援会 様 150,000円

◇陽光園

群馬テレビ愛の募金 様 297,840円

館林市手をつなぐ育成会 様



◇第二陽光園

館林市手をつなぐ育成会 様 158,000円

◇てんしやば

館林市手をつなぐ育成会 様 59,000円

〓厚情に心より感謝申し上げます。



令和元年度 財産目録

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
流動資産合計	347,614,425
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
基本財産合計	320,342,170
(2) その他の固定資産	
その他の固定資産合計	251,696,100
固定資産合計	572,038,270
資産の部の合計	919,652,695
II 負債の部	
1. 流動負債	
流動負債合計	39,986,123
2. 固定負債	
固定負債合計	71,727,477
負債の部の合計	111,713,600
差引純資産	807,939,095

令和元年度 決算報告

貸借対照表
令和2年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	347,614,425	368,064,471	△20,450,046	流動負債	39,986,123	40,988,775	△1,002,652
現金	600,000	600,000	0	事業未払金	20,092,866	20,223,369	△130,503
預金	236,918,425	253,948,763	△17,030,338	1年以内返済予定リース債務	835,920	835,920	0
事業未収金	96,555,793	103,025,065	△6,469,272	職員預り金	6,057,377	9,929,486	△3,872,149
貯蔵品	0	121,728	△121,728	拠点区分間借入金	13,000,000	10,000,000	3,000,000
原材料	283,756	162,915	120,841	固定負債	71,727,477	62,101,717	9,625,760
立替金	50,451	0	50,451	リース債務	208,980	1,044,900	△835,920
前払金	206,000	206,000	0	拠点区分間長期借入金	60,362,783	50,362,783	10,000,000
拠点区分間貸付金	13,000,000	10,000,000	3,000,000	退職給付引当金	11,155,714	10,694,034	461,680
固定資産	572,038,270	576,332,841	△4,294,571	負債の部合計	111,713,600	103,090,492	8,623,108
基本財産	320,342,170	332,863,306	△12,521,136	純資産の部			
土地	91,028,275	91,028,275	0	基本金	168,572,625	168,572,625	0
建物	215,716,239	225,690,370	△9,974,131	基本金	168,572,625	168,572,625	0
建物付属設備	13,597,656	16,144,661	△2,547,005	国庫補助金等特別積立金	190,266,130	198,951,157	△8,685,027
その他の固定資産	251,696,100	243,469,535	8,226,565	国庫補助金等特別積立金	190,266,130	198,951,157	△8,685,027
建物	25,135,426	25,889,804	△754,378	その他の積立金	121,545,800	121,545,500	300
建物付属設備	8,372,111	9,231,290	△859,179	移行時特別積立金	47,055,500	47,055,500	0
構築物	1,343,257	1,535,421	△192,164	施設整備積立金	54,400,300	54,400,300	300
機械及び装置	729,763	1,415,951	△686,188	人件費積立金	15,500,000	15,500,000	0
車両運搬具	14,333,126	12,854,563	1,478,563	修繕費積立金	4,590,000	4,590,000	0
器具及び備品	5,335,929	6,020,349	△684,420	次期繰越活動増減差額	327,554,540	352,237,538	△24,682,998
リサイクル預託金	317,770	295,130	22,640	次期繰越活動増減差額	327,554,540	352,237,538	△24,682,998
権利	669,361	694,184	△24,823	(うち当期活動増減差額)	△27,682,698	21,273,795	△48,956,493
ソフトウェア	1,350,160	1,049,706	300,454				
無形リース資産	1,044,900	1,880,820	△835,920				
拠点区分間長期貸付金	60,362,783	50,362,783	10,000,000				
退職給付引当資産	11,155,714	10,694,034	461,680				
移行時特別積立	47,055,500	47,055,500	0				
施設整備積立資産	54,400,300	54,400,000	300				
人件費積立資産	15,500,000	15,500,000	0				
修繕費積立資産	4,590,000	4,590,000	0				
資産の部合計	919,652,695	944,397,312	△24,744,617	純資産の部合計	807,939,095	841,306,820	△33,367,725
				負債及び純資産の部合計	919,652,695	944,397,312	△24,744,617

資金収支計算書

(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	事業活動による収支	
				収入	支出
就労支援事業収入	46,520,000	46,078,235	441,765		
障害福祉サービス等事業収入	652,717,000	648,188,068	4,528,932		
その他の事業収入	900,000	900,000	0		
経常経費寄附金収入	669,000	634,500	34,500		
受取利息配当金収入	25,000	27,138	△2,138		
その他の収入	4,837,000	4,647,217	189,783		
事業活動収入計(1)	705,668,000	700,475,158	5,192,842		
人件費支出	529,676,000	525,961,745	3,714,255		
事業費支出	85,833,000	83,606,142	2,226,858		
事務費支出	59,206,000	51,174,527	8,031,473		
就労支援事業支出	47,420,000	44,656,981	2,763,019		
その他の支出	3,500,000	3,523,200	△23,200		
事業活動支出計(2)	725,635,000	708,922,595	16,712,405		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△19,967,000	△8,447,437	△11,519,563		
固定資産売却収入	300,000	300,000	0		
施設整備等収入計(4)	300,000	300,000	0		
固定資産取得支出	12,590,500	9,519,860	3,070,640		
ファイナンス・リース債務の返済支出	836,000	835,920	80		
施設整備等支出計(5)	13,426,500	10,355,780	3,070,720		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△13,126,500	△10,055,780	△3,070,720		
積立資産取崩収入	152,000	150,258	1,742		
拠点区分間長期借入金収入	10,000,000	10,000,000	0		
拠点区分間繰入金収入	1,600,000	1,600,000	0		
サービス区分間繰入金収入	0	42,087,051	△42,087,051		
その他の活動による収入計(7)	11,752,000	53,837,309	△42,085,309		
積立資産支出	1,159,000	1,093,548	65,452		
拠点区分間長期貸付金支出	10,000,000	10,000,000	0		
拠点区分間繰入金支出	1,600,000	1,600,000	0		
サービス区分間繰入金支出	0	42,087,051	△42,087,051		
その他の活動支出計(8)	12,759,000	54,780,599	△42,021,599		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1,007,000	△943,290	△63,710		
予備費支出(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△34,100,500	△19,446,507	△14,653,993		
前期末支払資金残高(12)	290,002,857	327,626,973	△37,624,116		
当期末支払資金残高(11)+(12)	255,902,357	308,180,466	△52,278,109		

事業活動計算書

(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	事業活動増減の部	
				収入	費用
就労支援事業収入	46,078,235	44,348,258	1,729,977		
障害福祉サービス等事業収入	648,188,068	648,064,401	123,667		
その他の事業収入	900,000	300,000	600,000		
経常経費寄附金収入	634,500	14,507,475	△13,872,975		
サービス活動収益計(1)	695,800,803	707,220,134	△11,419,331		
人件費	526,904,735	502,882,844	24,021,891		
事業費	83,606,142	84,348,410	△742,268		
就労支援事業費用	51,174,527	42,880,632	8,293,895		
減価償却費	44,657,868	44,392,605	265,263		
国庫補助金等特別積立金取崩額	24,276,411	24,420,156	△143,745		
サービス活動費用計(2)	△8,685,027	△9,093,913	408,886		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	721,934,656	689,830,734	32,103,922		
受取利息配当金収益	△26,133,853	17,389,400	△43,523,253		
その他のサービス活動外収益	27,138	26,491	647		
サービス活動外収益計(4)	4,647,217	7,312,284	△2,665,067		
その他のサービス活動外費用	4,674,355	7,338,775	△2,664,420		
サービス活動外費用計(5)	3,523,200	3,554,380	△31,180		
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	1,151,155	3,784,395	△2,633,240		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△24,982,698	21,173,795	△46,156,493		
施設整備等補助金収益	0	100,000	△100,000		
固定資産売却益	300,000	0	300,000		
拠点区分間繰入金収益	1,600,000	4,600,000	△3,000,000		
サービス区分間繰入金収益	42,087,051	0	42,087,051		
サービス区分間固定資産移管収益	31,593,377	0	31,593,377		
特別収益計(8)	75,580,428	4,700,000	70,880,428		
基本金組入額	3,000,000	0	3,000,000		
国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	△15,410,692	0	△15,410,692		
国庫補助金等特別積立金積立額	15,410,692	0	15,410,692		
拠点区分間繰入金費用	1,600,000	4,600,000	△3,000,000		
サービス区分間繰入金費用	42,087,051	0	42,087,051		
サービス区分間固定資産移管費用	31,593,377	0	31,593,377		
特別費用計(9)	78,280,428	4,600,000	73,680,428		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△2,700,000	100,000	△2,800,000		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△27,682,698	21,273,795	△48,956,493		
前期繰越活動増減差額(12)	352,237,538	339,463,743	12,773,795		
当期未繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	324,554,840	360,737,538	△36,182,698		
基本金取崩額(14)	3,000,000	0	3,000,000		
その他の積立金取崩額(15)	0	37,959,500	△37,959,500		
その他の積立金積立額(16)	300	46,459,500	△46,459,200		
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	327,554,540	352,237,538	△24,682,998		

令和元年度 館邑会事業報告

1. 役員会等の状況

開催日	事業名	内容
4月19日	第1回理事会	マイクロバス購入業者選定・車両リース業者選定 トイレ改修工事業者選定
6月7日	第2回理事会	平成30年度補正予算・事業報告・決算 マイクロバス契約・リース契約・トイレ工事契約 運営規程変更 理事監事候補者選定 評議員選任解任委員の選任
6月20日	第1回評議員会	平成30年度補正予算・事業報告・決算 理事・監事の選任
6月20日	第3回理事会	理事長の選任
9月5日	第4回理事会	第二陽光園・てんしゃば運営規程の変更 補正予算 福祉総合支援事業の加入について 館林市社会福祉法人連絡会加入について
9月20日	第2回評議員会	補正予算
10月9日	第5回理事会	基本財産の処分(てんしゃば)
10月24日	第3回評議員会	基本財産の処分(てんしゃば)
12月18日	第6回理事会	解体工事指名業者の選定 館林市社会福祉法人連絡会加入について
2月17日	第7回理事会	解体工事契約 送迎車両購入について 補正予算
2月27日	第4回評議員会	補正予算
3月13日	第8回理事会	運営規程(GOODJOB・ういず) 給与規程の変更 令和2年度事業計画・予算書 管理者の選任
3月27日	第5回評議員会	令和2年度事業計画・予算書

2. その他会議やイベント

開催日	事業名	内容
7月19日	第三者委員会	苦情解決について 虐待への取り組み その他
8月1日	館邑会後援会	決算・予算、事業報告
10月19日	秋まつり	中止(縮小にて実施)
2月1日	新年会	

3. 研修会(地域福祉講演会 主催:館邑会)

開催日	研修テーマ	内容
2月15日	障がい者虐待の現状と課題	なぜ虐待がおきるのか? どうしたら予防できるのか?

苦情受付処理結果

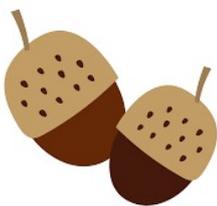
令和2年9月30日現在

事業所名	受付時期	苦情の内容	解決結果	解決レベル
陽光園	R2.2.10	陽光園の送迎車両が尋常ででないスピードで狭い道を走行していた。 小学生の下校の時間勤務に危険ではないかと匿名で電話があった。	電話を受けてすぐに送迎車両にスピードの出し過ぎに気を付け、安全運行を促した。ドラレコから苦情に該当する車両が確認されたため、その日のうちに当該車両運転手と面談し、安全第一の運転に努めるように伝え反省を促した。他の職員への周知及び安全運行を自覚するため2/10・2/12の夕方の打ち合わせの際に、苦情内容の説明と話し合いを行った。	施設長 サービス管理責任者

社会福祉法人館邑会の役員

1. 評議員
前山秀樹(善長寺住職)
三田正信(館林市社協長)
峯崎俊雄(板倉町社協長)
立木留吉(明和町社協長)
久保田 馨(千代田町社協長)
神長泰弘(大泉町社協長)
田部井猛夫(邑楽町社協長)
安楽岡信子
2. 理事
山川 博(理事長)
太田敏雄
谷津義男
山本 樹
多田善洋(県議会議員)
黒田香代美(陽光園所長)
3. 監事
田沼俊彦
栗原則雄
第三者委員
田中美喜雄
平野一男(司法書士)
石村澄江

〔編集後記〕
コロナ過の中、行事は次々と中止が決まり、外出も制限され、新しい生活様式を余儀なくされている。そんな中でも楽しみを一つでも多く見つけていけたらなと思う。



ようこうだより

令和二年号

編集・発行 社会福祉法人 館邑会

〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀八三六の一

https://kanoukai.jp

本部 TEL:0276-89-0600 FAX:0276-88-6930

mail: info@kanoukai.com